



千住四丁目「横山家」

江戸の千住宿を今に残す地漉紙問屋 足立区有形民俗文化財

千住宿の面影を最も残すのが、地漉紙問「松屋」を営んでいた横山家。地漉紙とは再生紙のこと。厚いものはお面の台紙、煙草入れやだるまの素材などに、薄いものは便所の落とし紙(トイレトペーパー)として利用。松屋は、江戸から反故紙(使用済の紙)の仕入れ→地漉紙を作る農村部→地漉紙を江戸へ出荷、という中継役を果たしていた。また、宿場で公的な輸送のために馬や人足を用意する「伝馬役」を担う伝馬屋敷でもあった。



建築は約150年前の万延元年(1860)。安政の大地震や関東大震災にも耐えた。現在、建物の半分は洋間に改装されたが、玄関は昔のまま。帳場があり、入口のすぐ内側は踏天井(1階の天井と2階の床を兼ねたもの)で、大八車がそのまま入れる問屋独特の造り。柱には戊辰戦争(1868-69)で、上野から逃げてきた彰義隊が闘った際についた刀傷が残っている。5つの蔵のうち廃業時に3つ取り壊され、敷地内には1つが現存。もう1つは移築され、「千住宿歴史ブチテラス」(千住河原町21-11)として展示会に利用されている。



横山家は住居として使用しているため公開されていないが、「千住いえまち」の活動に賛同して下さった8代目ご当主・横山恵章さんのご好意で、特別に中を拝見しながら勉強会を開催した(7月)。足立区郷土博物館学芸員の多田文夫さんの解説、横山さんが先代から聞いた昔の話などを伺い、中庭や蔵の中なども見学。建物の歴史を肌で感じられる貴重な体験となった。いえまちメンバーの建築の専門家2人が、「この先、100~200年もつ」と感嘆とともに太鼓判。横山さんも安心していらしたのが印象に残る。

イベント情報

「まちヨガ」各月末を予定

長圓寺、安養院、氷川神社(社務所)、タカラ湯などを会場として、月末の週末を中心に、まちヨガを開催していく予定です。随時 HP にて告知をいたします。
<http://1010iemachi.jp/>

「大千住展」2013年11月6日(水)~2014年1月26日(日)

千住の町全体が催事空間となって、「大千住」の江戸から昭和にかけての「町の繁栄と祝祭」に関するものを展示。千住いえまちプロジェクトは、郷土博物館にて「千住の家」について展示します。足立区立郷土博物館(足立区大谷田5-20-1 / tel 3620-9393)

「千住いえまち・まち歩き」11月17日(日)

第2弾は千住の過去と現在を感じ、タイムスリップ感を味わえるようなまち歩きを企画しています。また、終了後は懇親会も予定(希望者)しています。ホームページから申し込み受け付け中。
<http://1010iemachi.jp/>

千住いえまちとは…

千住のまちの財産である、まちなみや路地などをより多くの方々で見つめなおし、親しみを持って、新たな価値を見出す。

私たち千住いえまちプロジェクトは、そんな趣きや深みのある楽しい千住を目指して様々な活動をしています。「このすこと」「つくること」「つなぐこと」3つのキーワードをもとに、「自分の住むまちはいいまちであってほしい。そして子供達にとっても、なおそうであってほしい。」そんなことを思い描きながら、積極的に千住のまちに関わり始めました。

一人ひとりがまちに参加することで、まちの雰囲気は変わります。みなさんも私たちと一緒に、千住のまちに参加しませんか?

ヨガやまち歩きなど、みなさんと会えるのも楽しみです。一度、参加してみてください。



千住いえまちプロジェクト代表：山崎たいく